

県広報

1992
No.276

1

とよ



特集／ **一日部長・一日庁議**
県庁探訪／ **児童家庭課**
ふるさとみてある記／ **舟橋村**

ピエタの潜水艦

音楽家 滝沢 卓



いつの日だったか、幼いころ。 やっと貯まったおこづかいを、ぎゅっとにぎりしめて駆け込んだ、近くの模型屋さん。 ずっとほしかった、あこがれの「箱」を手 に取ると、もういちど、汗ばんだ手の中の数 個の百円玉を確認して

「おばちゃん、これ」

おばちゃんは、入って来た時の勢いと、僕の得意な顔でわかっているの、さっきから にこにこ僕のほうを眺めていました。

「よかったねえ、ありがと」

いつのまにか向かいの家まで届いている影、 こんどは大事そうに箱をかかえて。

「おとうさん、つくってえ」

父は箱の中から組立説明書を取り出すと、 しばらく、「ふむふむ」と頷いていましたが、

「卓、ニッパーとドライバーもってこい」

ぼくは、喜びいさんで、どたどたと物置 に走りました。

スクリュー、シャフト、ギア、モーター、

ちいさな船体に器用に組み込んでいく父親の 手をこたつの反対側からじっと息を凝らして みていた僕。

二三日続いた雨もあがって、水面には夕

焼けに染まるあかいうろこ雲が映ってしまし た。

しっかりと両手にかかえられた、モーター の潜水艦。

「はやく、はやく」

せかす僕の声に、父に手をひかれた弟もやっ てきました。

「うかべてもいい？」

「ああ」

ういーん、という小気味良い音と共にさざ 波をたてて水面を滑り出す。

波紋が広がる――。

先日、むかしのプラモデルがまだ残ってい るお店を見つめました。 なつかしさのあまり ご主人と話し込んでしまいました。今はディ スプレイモデル（鑑賞用）ばかりで昔のよう にモーターや歯車を使って走らせるのは殆ん どなくなつた、との事。

「空き地がなくなつたからねえ」

いまの子どもたち、すこしかわいそうな気 がします。

年頭の辞



富山県知事 中沖 豊

明けましておめでとうございます。

輝かしい一九九二年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと思います。

今日、国際情勢は、東欧諸国の民主化やソ連の変革などに象徴されますように、「対話と協調の時代」に向け、新しい国際秩序を模索しております。一方、国内では、高齢化社会の到来、情報化や国際化の進展といった大きな潮流のなかで、「地域間の競争と交流」の重要性が叫ばれ、それぞれの地域において新たな個性と魅力を創り出す努力がなされております。

このように、国内外とも、まさに「混迷と激動の時代」を迎えておりますが、今こそ「グローバルに考え、ローカルに行動する」視点に立って、新しい時代に即した県づくりの基礎を築いていかなければなりません。

富山県におきましては、二十一世紀に向けての県づくりのシナリオである県民総合計画を基本として、県民の皆様参加と連帯のもと、日本のパイオニア県を合言葉に、「しあわせに生きる 富山の創造」をめざし、全力を尽くしたいと思います。

幸い本県は、県民の皆様のご尽力により、新しい時代に向かって着実に歩みを進めております。特にいま、環日本海時代の幕開けを迎えておりますが、日本海国土軸の形成に中心的な役割を果たしながら、対岸諸国との友好交流を進め、環日本海交流の拠点として発展していきたいと考えております。また、北陸新幹線につきましては、高岡・金沢間の本格着工

新しい年を

迎えます

をはじめその全線整備と並行在来線の存続に向けて一層努力するとともに、東海北陸自動車道、能越自動車道等高速交通体系の整備に努めてまいります。また、総合運動公園の建設、県立中央病院の整備を進めるとともに、総合雪対策をはじめ日本海ミュージアム構想、全県域下水道化構想、全県公園化構想などの重要施策の推進を図り、農林水産業、商工業の振興にも全力を尽くしてまいります。

さらに、本年七月十日から九月二十七日までの八十日間にわたり、県民公園太閤山ランドにおいて、第一回ジャパンエキスポ富山92を開催いたします。「人間―その内と外 富山から世界へ未来へ」をテーマに、「いのちとくらしの博覧会」として、新しい時代が求める豊かなライフスタイルや地域のあり方を、全国や世界に向けて情報発信し、未来へ継承していきたいと思っております。また、この博覧会を契機として、県内の観光地などのネットワークづくりを進め、県下全域の発展につながる「オール富山エキスポ」をめざしたいと思います。

今年も申年。申は伸に通じると言われます。平成四年が富山県にとりまして、大飛躍の年となりますよう願ってやみません。県民の皆様が県政に対する積極的な協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のあいさついたします。



もてなしの心を育てよう!

"いきいき富山観光道場"スタート



富山県では、今年のエキスポとやま博をはじめ、平成六年のインターハイ、平成八年の国民文化祭、二〇〇〇年国体と、全国規模のイベントが次々に開催されます。これらのビッグイベントに備え、日頃観光客に接する機会が多い人々の接客サービスの向上を図ろうと、「いきいき富山観光道場」が十一月十四日からスタートしました。富山市の県市町村会館で開かれた道場開き（開講式）には、旅館・ホテル、タクシー・バス、観光案内所などの関係者や観光ボランティアガイドら三十人余りが参加しました。

三箇県商工労働部次長のあいさつの後、県観光連盟副会長（富山地鉄株社長）の緒方裕氏が「観光とホスピタリティ」について基調講演。引き続き参加者による体験発表や活発なグループ討論が行われました。

この道場は、県外からのお客様に対する県民のもてなしの心を育てる「ようこそ富山キャンペーン」の一環として企画されたもので、視察研修や宿泊研修等の全日程受講者に免許状が授与されました。



明るく、美しい富山の夜をつくる

～'91とやま夜間景観シンポジウム～



▲左から水野一郎氏、荒井公夫氏、風間耕司氏



▲左から石井幹子氏、林孝二郎氏

「富山の夜は暗い」との評価を変え、夜間でも安全に楽しく過ごせる美しい景観をつくろうと、十一月十五日、県民会館国際会議場で'91とやま夜間景観シンポジウムが開催されました。

東京タワーや東京駅のライトアップを手掛けた世界的な照明デザイナーの石井幹子さんが「ライトスケープ光で創る夜間景観」と題して基調講演。世界の素晴らしいライトアップ事例や石井さんの手によって夜間景観が変化した事例がスライドでわかりやすく紹介されました。

続いて、金沢工業大学教授の水野一郎氏をコーディネーターに建設省特定市街地整備対策官の林孝二郎氏、高岡商工会議所副会長の荒井公夫氏、写真家の風間耕司氏に石井さんを加えパネルディスカッションが行われました。「ちょっとした工夫で富山の夜間景観も素晴らしいくなる」、「ライトアップは少ない費用で大きな効果がある」、「夜間景観も昼の景観と同じように大事にすべきだ」といった意見が出されました。

ねたきり防止国際セミナー

基調講演
「寝たきり老人」のいる国にない国
大熊由紀子先生



ねたきりゼロをめざして

ねたきり防止国際セミナー●開催

北欧などの先進的な高齢者福祉対策を学ぶ「ねたきり防止国際セミナー」が、十一月二十七日県民会館で開催され、医療・福祉関係者ら約二百五十名が参加し、寝たきりゼロへの方策を探りました。

ジャーナリストの大熊由紀子さんが「寝たきり老人のいる国、いない国」と題して基調講演し、北欧と日本の高齢者福祉の違いを報告。

続いて北欧の専門家二人が各国の現状を説明。痴呆性老人の施設が、入居者の住み慣れた環境と同じように設計されていることや、深夜でも訪問看護婦を呼べる態勢が整備されていることなど、北欧の進んだ方式が紹介されました。

また国内や県内の現状も報告され、これからの高齢者福祉のあり方について熱心な議論が交わされました。



山口昇氏



中沖知事



I・ラルセン氏



K・ランドスロム氏



飯田恭子氏



富山県総合雪対策講演会

魅せられて南極

筑波大学地球科学系技官

森永由紀

日本気象協会北陸センター調査役
舟田久之



雪に学び、雪を語る

富山県雪対策研究発表会・講演会開催

県が昭和五十六年から取り組んできた、総合雪対策基本計画に基づく調査・研究の成果を発表する「富山県雪対策研究成果発表会」が、十一月二十六、二十七日の両日、県民会館地下展示場で開催されました。会場には融雪住宅や除雪情報システムなど、県がこれまで雪対策として取り組んできた様々な施策を紹介するパネルの他、雪を利用した発電装置も展示され、会場を訪れた人たちは熱心に見入っていました。また二十六日には、「北陸地方の豪雪のメカニズム」と題して日本気象協会北陸センター調査役の舟田久之氏、そして「魅せられて南極」と題して日本初の女性南極観測隊員の森永由紀さんの講演会も開催され、スライド上映を交えながらの話に、関係者は真剣に耳を傾けていました。



一日部長・一日庁議



商工労働部長
内堀秀男さん



厚生部長
山崎哲雄さん



総務部長
杉村玲子さん



企画県民部長
千田 篤さん



富山県知事
中沖 豊



農業水産部長
前田正稔さん



土木部長
山下隆司さん



農地林務部長
酒井初江さん



企業局長
梅崎一江さん



教育長
和田朝子さん

TOYAMA 富山を 積極的にPR

千田（企画県民部長）●県ではたくさん
のパンフレットや書籍を発行されていま
すが、一年間に出たものを全部、例えば
テクノホールなど県民が多く集まる場所
に並べて県民の皆さんに見てもらっては

県民の県政に対する理解と関心を深めるため、毎年開
催している一日部長と一日庁議。今年は十一月十一日と
十九日に実施しました。十一日の一日部長では九名の皆
さんに事業説明の後、施設等を視察してもらい、十九日
には知事を交えて一日庁議を開催し県政に対する意見や
提言をいただきました。その概要を紹介いたします。

どうでしょうか。そうすれば、各部署の
仕事の様子がよくわかると思うのですが。
杉村（総務部長）●とやま国際センター
はあまり知られていないようなので、も
っと県民の皆さんにPRしたらよいと思
います。

山下（土木部長）●県では非常に分かり
やすいパンフレットを多く作っておられ
ますが、一般の県民にはほとんど知られ
ていません。県民の方に見ていただくこ
うの活動も大切なのではないですか。
千田●富山空港は特徴がないといわれて



- 企画県民部長 千田 篤さん
(富山県コンプス計画コア・グループメンバー)
視察先：公害センター・ジャパンエキスポ会場・消費生活センター
- 総務部長 杉村玲子さん
(有富山防災設備社長)
視察先：とやま国際センター・旅券センター・消防学校
富山保健所
- 厚生部長 山崎哲雄さん
(富山県民間保育連盟会長)
視察先：高志リハビリテーション病院・流杉老人ホーム・富山保健所
- 商工労働部長 内堀秀男さん
(日本鋼管株富山製造所所長)
視察先：技術専門学院・工業技術センター機械電子研究所・高岡テクノドーム・工業技術センター中央研究所
- 農業水産部長 前田正稔さん
(富山県農協青年組織協議会会長)
視察先：肉用牛センター・食品研究所・農業技術センター・水産試験場
- 土木部長 山下隆司さん
(タウン情報とやま 編集長)
視察先：松川（河川環境整備事業）赤江川（ふるさとの川モデル事業・建築組合連合会・富山土木事務所・富山空港・総合運動公園建設地・ホルファート富山
- 農地林務部長 酒井初江さん
(富山県野鳥保護の会事務局長)
視察先：緑化センター・森林科学館・湯谷川ダム・宿坊大橋（山田村）・下条地区（大門町）
- 企業局長 梅崎一江さん
(射水水道企業団水道相談役)
視察先：境川ダム・和田川水道管理所
- 教育長 和田朝子さん
(有富山県芸術文化協会理事)
視察先：大沢野工業高校・立山博物館・総合体育センター・埋蔵文化財センター
- 富山県知事 中沖 豊



▲ジャパンエキスポ会場視察 (企画県民部長) 千田篤さん

いますが、三百五十メートルの落差のある称名滝が三分の一ぐらい見えます。平野部で滝の見える飛行場なんて世界に一つしかないと思うので、ぜひ積極的にPRをしていただきたいですね。

魅力ある 富山をつくる

山崎(厚生部長) ●福祉サービスの原点というのは「人」だと思います。富山県ではマンパワーの充実策を実施しておりますが、若い人たちの間では福祉に対するイメージが低いのではないかと感じています。福祉専門の短大や大学が富山県にはないと思うので、若い人を福祉に定着させるためにもぜひ福祉専門の高



▲旅券センター視察 (総務部長) 杉村玲子さん

等教育機関をつくってもらいたいですね。内堀●エキスポやま博を機会に全国から若者を集めてデイスカッションをするとか、工業技術センターに全国の大学から学生を呼んで共同研究をさせてあげるとか、若者を引き付けるイベントをもっと活発にして、富山のシンパをつくるというようなことを企画してみてもいいでしょうか。

前田(農業水産部長) ●米づくりには上流からのきれいな水が必要であるし、富栄養化した用水の水がほ場に入っていると管理が大変です。末端の用水では川藻の発生が増えたように思われます。農村集落排水事業などを実施することにより、川上から川下まで消費者も交えた水のネットワークづくりが必要ではないでしょうか。



▲流杉老人ホーム視察 (厚生部長) 山崎哲雄さん

酒井(農地林務部長) ●花しょうぶを中心とした水生公園をつくるということですが設計図等を見せてもらいましたが、人工物が目立つような気がしました。必要最小限の人工物は必要だと思いますが、自然公園を整備する場合には周囲の自然を壊さないように自然とマッチするように考えていただきたいと思っています。

千田●富山の町並みは暗いといわれていますが、富山で三年に一度世界ポスター展を開催しており、立派なポスターもたくさんあるので、各商店街にそのポスターを飾る場所を作ってもらい、夜にはそこに光を当てるようにすればよいと思います。また、ポスター展の時は近代美術館に参加者の出身国が分かるようにそれぞれの国旗を立てたりすれば、国民的行事として注目されるのではないのでしょうか。



▲工業技術センター中央研究所視察 (商工労働部長) 内堀秀男さん

創造 快適空間の

梅崎(企業局長) ●水の水源地から海の近くまで川に沿って視察をし、水の大切さを痛感しましたが、富山県にとって、「水」は非常に大きな要素であると思います。水を中心とした観光など、特長のある県づくりを進めてもらいたいですね。

和田(教育長) ●まず、県庁の各課をまわってあまりの狭さにびっくりしました。外からオフィスの中が見えるような、用事がなくても気軽に寄れるような開かれた県庁にしていきたい。山崎●お年寄りには施設に入らず、地域の

中で老後を過ごしていきたいという気持ちを持てず持たずおられるので、いろいろな施設をつくるのもよいのですが、ホームヘルパーなど介護する人の手も考えていかなければならないと思います。山下●土木という仕事は、これからは産業基盤の整備、社会資本の充実ばかりでなく、「まちづくり」ということを考えていかなければならないと思います。まちづくりは基本的には住民がやるべきことですが、たとえば個々の住宅はすばらしいが、家並みはさほどではないということがあるので、ぜひソフトの部分も考えていただきたいと思っています。また、まちづくりにはそこに住む人との連携プレーが要求されるので、民間のいろいろな活動をしている人の意見も聞き、ぜひ参考にしていただきたいですね。

●杉村●富山県は災害等が少ないので防災意識が低いように感じます。イベントなどの際に防災に関するものを取り入れるなど、もっと県民にアピールしてもらいたいですね。内堀●外国人とのほのぼのとしたつきあいは非常に大切だと思いますが、習慣や宗教の違いなどいろいろなトラブルもあります。それを持っていけば簡単な会話ぐらいできるような、外国人とのつきあいのパンフレットを作っていたければよいのですが。

スポーツを盛んにするよう努力しておりますが、これまで富山県の代表として、たとえばインターハイなどに送り出した選手の皆さんに、自分の経験を生かして後輩等を指導してもらえようようにぜひ検討していただきたい。山崎●現在、地域福祉ネットワークづくり、ボランティアネットワークづくりがスタートしていますが、いろんな人が何かをしたいと思っても具体的に何をすればいいのか分からないというのが現状です。行政の方でマニュアルなどを作成し、指導してもらえればと思います。酒井●富山県は植生自然度本州一を誇る県です。私たちにはこの自然度の高い緑を子孫へ伝えていく義務があります。自然破壊につながるような行為をしないように、幼児教育、児童教育の中に環境教

育をぜひ取り入れてもらいたいですね。和田●高校進学の際に、とりあえず普通科に進んでそれから進路を考えるといいのではないかと、もっと個性にあった進路指導していただきたい。小さい時からいろいろな面に目を向けるような教育が必要ではないでしょうか。知事●すばらしいご意見・ご提言ありがとうございます。皆さんのご知恵を検討させていただきます。今後の県政に反映していきたいと思っています。(注) 一日部長の提言等に対する知事の発言は紙面の都合上割愛しました。

明日を拓く 人づくり

千田●二〇〇〇年国体に向けて富山県の



▲食品研究所視察 (農業水産部長) 前田正稔さん



▲ふるさと川モデル事業視察 (土木部長) 山下隆司さん



▲森林科学館視察 (農地林務部長) 酒井初江さん



▲和田川水道管理所視察 (企業局長) 梅崎一江さん

▲(教育長) 和田朝子さん 埋蔵文化財センター視察

児童の健全な育成のために

レポーター： 高林 直美(ミス富山)

核家族化、働く母親の増加、子供の減少など、子供をとりまく環境は大きく変化してきています。
こうした状況の中、児童家庭課では、児童のよりよい生活を実現するとともに、将来の社会を担い、家庭を担う児童を心身ともに健全に育成するため、様々な事業を行っています。

近年、核家族化や出生率の低下など、児童をとりまく環境は昔とはかなり変わってきてきた。そのため、児童への公的な対策がとても重要となっています。
私も一人の女性として、母親となる将来を想像しながら、また自分の子供の頃の環境を思い出しながら、とても興味深く児童家庭課の取材をさせていただきました。

児童福祉の四つの柱

まずはじめに、児童家庭課の山岸課長から、富山県の児童福祉の状況と、現代の家庭環境について説明していただきました。
児童福祉を充実させる事業は大きく四つに分けられます。一つめは「保育対策の充実」です。これは、保育所の整備や今話題となっている乳児保育、延長保育、休日保育等を実施することです。子供を保育所に預け、仕事を続ける母親が増えています。また、富山県は女性の就業率が全国でも上位にあるため、延長保育や夜間保育に対するニーズも今後ますます増えていくと思われます。これに対応するため、こうした働く女性の支援を拡大していくそうです。
二つめは「児童の健全育成」です。これを進めるための中心として、現在、小杉の太閤山に「富山県子どもみらい館（仮称）」の整備を進めています。ここは子供達が、自由に楽しく遊び、学ぶ「子どもの街」です。またこ

こを核として県内にある児童館をネットワーク化し、よりよい児童環境の整備を進めていくそうです。
三つめは、「施設福祉の推進」です。これは、社会的・家庭的ハンディをもった児童の養護や、ハンディを取り除くための指導や訓練などをさらに充実させるため、施設への援助等を行うものです。
四つめは、「母子（父子）家庭の援護」です。こうした家庭に対し資金貸与など経済的な援助のほか、電話相談等のメンタル面での支援も行っています。特に、父親の帰りが遅く、さみしい思いをしている子供を夜間まで預かってくれるトワイライトステイという事業は、働く父親の強い味方となっています。

▶山岸課長



▲なでしこ保育園全景



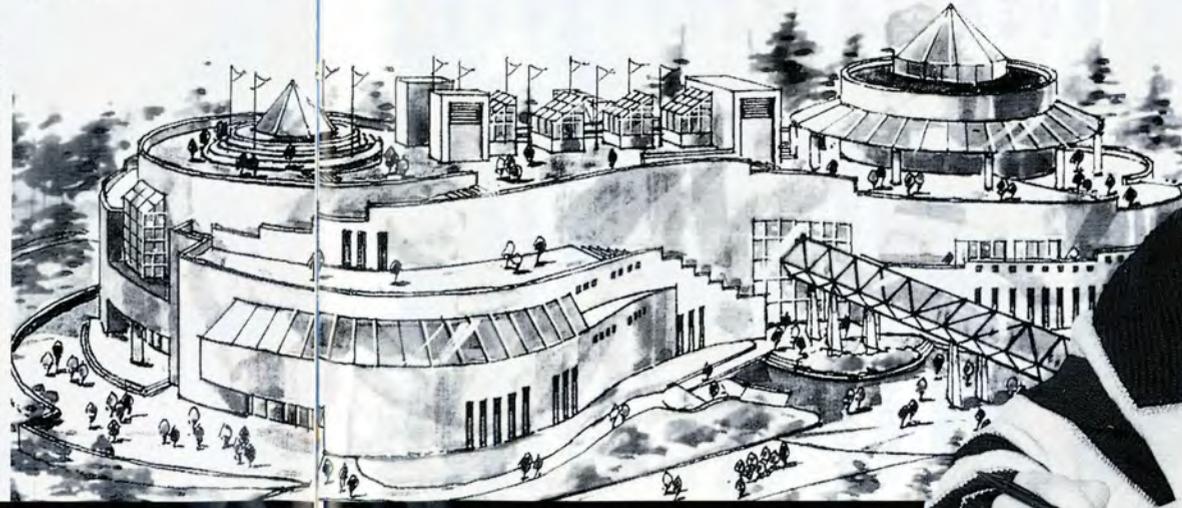
▲乳児保育を見学

児童福祉の最前線

次に児童相談所におじゃまして、児童にカウンセリングや心理治療を行ったり、両親に適切なアドバイス等をされている先生方にお会いしました。ここでは、昭和六十三年から「子育てテレフォン相談」を行っているそうです。一カ月に約百件ほどの相談があり、最近では、育児に悩む母親からの相談が多いそうです。
また、二階には、ハンディをもった児童を更生させるための様々な教室があります。中でもとくに目を引いたのは、箱庭治療室という部屋です。砂の入った箱の中に、児童が自分自身の空間をつくります。その過程から、児童の心の中の微妙な動きを読み取り、専門的に分析し治療することでした。
最後に、「なでしこ保育園」におじゃましました。この保育園は県内で初めて、夜間保育を導入した所で、現在では、生後まもない乳児の保育も行っています。迎えが夜十一時頃になり、子供が眠ってしまったこともあるそうです。
目の前にいる〇歳から三歳の子供達をみると、本当にこれでいいのかなと少し思いました。保育所は多くの子供達が一緒に遊び、交流を深めるという面で、



▲箱庭治療室



▲富山県子どもみらい館予想図

子供の成長にとって大切な場であり、また保母の方々の役割が非常に重要だと感じました。
◎ 今回の取材で、将来の社会を担う子供達を健全に育てるために、様々な事業が行われていることを知りました。私もいつか母親になった日には、今回聞いたお話を頭の隅において子育てをしていきたいと思いました。





寒修行

信仰の心深く
身を切るような痛み
にじっと耐え
悟りを開く



撮影 / 池端 滋

AMANO IN NIPPON

JET
パビリオン

世界初の 参加型噴水

出展者 佐藤工業株

コンピュータ技術を駆使した噴水カーペット。レーザー光線が人間を感知し噴水を止める世界初の参加型噴水(噴水ホット)や、噴水迷路、映画「十戒」の海を割るシーンを連想させる噴水樹林など、アイデアいっぱいです。



JET
パビリオン

電力館 やすらぎの光の森

出展者 北陸電力株・関西電力株

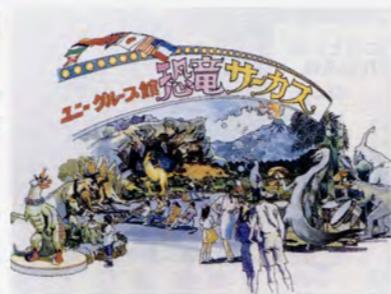
メインホールでは、森の奥深く、大きな木と、蝶とキノコの妖精の物語が、移り変わる季節の中で展開されます。光ファイバーを取り入れた光と音楽のファンタジックショーです。

JET
パビリオン

ユニークグループ館

恐竜サーカス

出展者 ユニーク株・ユニークグループ



JET
パビリオン

三井・東芝館 チャレンジ 「ジャパンカップF1」



参加者全員にブック型コンピュータが手渡され、まるで本物のF1レースに参加しているかのような、現実感と臨場感あふれる世界へ誘います。本物さながらのサウンド音響、激しい照明の演出などにより、よりエキサイティングなレースが体感できます。

楽しいサーカスイベント。入口では、観客に向かって呼び込みの恐竜が声を出しています。中にはいろいろな「遊び」をする恐竜たちが待ち構えています。恐竜の動きはすべて自動制御されています。

JET
パビリオン

21世紀・夢の 海洋都市を体験!

出展者 高岡アルミニウム懇話会



「夢さえあれば技術は進歩する」との理想を掲げ、アルミを主体とした軽量新素材の可能性を追求した超々高層ビル「ドリーム・ペイタワー」が21世紀を案内します。

高速リニアモーター エレベーター

400階のビルを一気に駆けのぼる感覚です。迫力の映像と音響で、高速垂直上昇を擬似体験。

ジャパン エキスポコーナー

ドキドキ

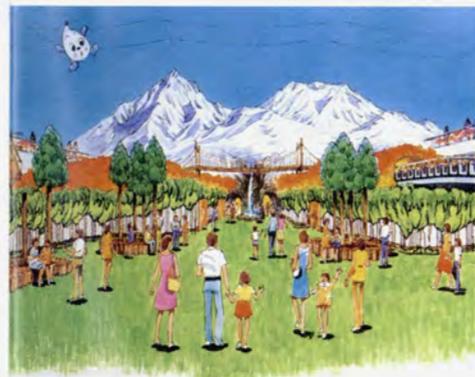
わくわく・ドキドキ 夢がある。ドラマがある。エキスポとやま博いよいよ7月スタート。魅力あふれる出展内容の一部を紹介します。

ワクワク

JET
パビリオン

富山県出展館 「とやまワンダーランド」

「テーマは「とやまの人と自然!!」

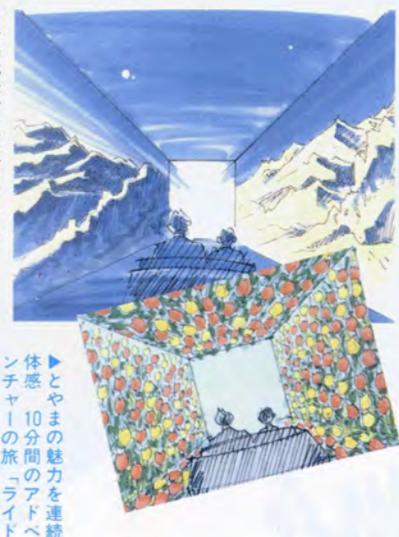


ジャパンエキスポ館の中央部分約2,000㎡が県出展会場になり、「自然・水」と「人々の暮らし」との調和にスポットを当て、「不思議の海・富山湾」の海底千数百メートルから標高三千

メートルの「立山連峰」までの高低差に富んだ雄大な大自然と四季折々の美しさを会場全体に演出します。
ライドに乗って
目玉は何と言ってもモリドツアー。2人乗りのライドが会場を巡り、感動的で楽しいシーンの連続を演出します。立山連峰のトンネルに入ると、いきなりそこは厳冬の立山、そそり立つ雪の壁、吹雪、そして満天の星空。春には襲いかかる熊や落雪のハブニングも。やがてライドは夏・秋の富山湾へ、群遊するホタルイ

カ、埋没林、深海魚など。また、ホッとするようなさわやかな香りに包まれた花いっぱい万華鏡。模型や映像、特殊効果を駆使して、不思議の国へとあなたを誘います。

※その他、ときめき発見シアターやふれあいプラザ、市町村まんだら、とやまギネスキャラリー、ウオーキングロードなど様々な展示内容で演出します。



▶とやまの魅力を連続体感 10分間のアドベンチャーの旅「ライドツアー」



Panasonic 映像新発見

出展者 松下電機産業株

JET
パビリオン

家庭用テレビから宇宙開発までさまざまなジャンルで活躍する最先端のAV技術を結集した「おもしろ映像ランド」です。
・ハイビジョンシアター 思わずひきずりこまれる臨場感。90インチのワイドな画面であなたを釘づけ。
・立体画像 動物たちが画面から飛び出す...ノックと驚く迫力の立体画像で、興奮のひとつを体験。

とるさる
あるみる
記

舟橋村

地鉄舟橋駅をおりてすぐ、田畑が広がる静かなたたずまいの中に「無量寺」がある。ここは、後に富山県から全国的に拡がっていった「米騒動」に大きな影響を与えたとも言われる「ぼんどり騒動」の出陣の舞台になったお寺である。無量寺三十一世住職である竹沢文秀さんにお聞きした。

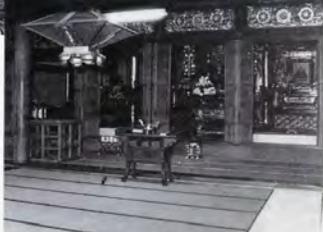
数珠を手に住職歩く縁側で 子猫がふわつと欠伸をしてる

無量寺



▲無量寺31世住職竹沢文秀さん

「この本堂に数千人もの農民が集まったと聞いています。常願寺川と白岩川の二つの川にはさまれて、舟が集まりやすいという立地条件があったからだと思えます。ぼんどり騒動」とは、明治二年に新川郡一帯を稲熟病が襲い、大凶作に見舞われたにもかかわらず重税を課せられた農民の怒りが爆発。この無量寺で数千人とも言われる農民が蜂起し、一か月後に藩兵によって鎮圧されるまで、県東部の富農宅を次々に打ち壊した、という事件である。



▲鎌倉時代の作といわれる阿弥陀如来像

「ぼんどり」とは、当時農民が身につけていたみそのあたりでこう呼んだところからきている。「農民を率いたといわれる宮崎忠次郎は、最後まで実力行使に反対した

村の新しい顔として

駅前には輝く時計塔

地鉄舟橋駅前に、キラキラ光るポールが美しい時計塔がある。この時計塔は、ふるさと創生一億円事業のまちづくりモデルとして、舟橋村が約二千万円をかけて取り組んだものである。一日に四回、決まった時間に「アマリス」などのメロディが流れ、今では村のシンボルに



▲「駅前が明るくなった」と評判の時計塔



舟橋村の概要

人口 1,395人(11月1日現在、県人口統計調査より)

面積 3.39km²

面積、人口ともコンパクトな村。静かな田園風景と立山連峰が眺望できる都市近郊農村である。稲作を中心とした農業を中心に、最近では肉牛の飼育などにも力を入れている。



▲ふるさと創生基金で設置された水銀灯

なっている。この「舟橋の顔づくり事業」を担当した、住民課の田辺さんに話を聞いた。「あの時計塔の他にも、ふるさと創生資金を使って、駅から役場の方へのびているシンボルロードに水銀灯を設置したんです。通りが明るくなったと評判ですね。舟橋村は、富山市から近いということもあって、住宅団地などがどんどん造成されている。村の人口も少しずつですが増えてきています。だからこそ舟橋村をもっと魅力ある所にしたいですね。富山県一小さな舟橋村。小さくてもキラリと光る何かがある村を目指し、田辺さんの胸は熱い。

減塩がミソ!?

村民の健康を考えた手づくりみそ

舟橋村の農協婦人部で、転作の大豆を生かしたみそづくりに取り組むグループがある。原料となる大豆や麴は各家庭から出してもらい、みそに加工した後、それぞれに配るのである。行く行くは舟橋村の特産物に、と農協でも力を入れている。



▲(左から)喜渡さん、高島さん、古瀬さん

「おとしの夏の農協の夜店で、PRも兼ねて出してみたんですけど、すごく評判がよかったです。それなら、各家庭から材料を持ち寄って、本格的にみそを作ってみようということになったんです」と話すのは、舟橋村農協の老田さん。転作の大豆を利用したみそづくりのアイデアは、「農協婦人部と語る会」で、同じ婦人



▶こうじタッパーで塩分ひかえめのみそは、近所の評判も上々



▶みそづくりの作業は、毎日三人ずつ交代で

部の喜渡さんの提案によるものとか。「やっぱり手づくりのおみその方がおいしいと思ったんです。舟橋は農家が多いから皆さん大豆とか作つとられるし。今では村の人にも喜んで食べてもらえますから、健康を考えて、塩分は控えめにしとんがです。その方が具の甘味も出ますしね」と喜渡さん。みそは白みそ、手づくりだから添加物はいれない。十二月から三月まで毎日三人交代での作業が続く。「冬にお届けしたみそは、梅雨明け頃までねかせてからいただく、一番おいしいんですよ。今は材料を出してもらった家庭で食べる分だけ作っている。記者もみそ汁を試食した。塩辛くなく、白みそ特有の風味とまろやかさがあった。決して手前みそではないおいしさでした。

とやまのみち

BIG作戦

富山県では、21世紀に向けて「魅力ある」、「自慢できる」みちを目指して、B (Beautiful:美しく)、I (Individual:とやまらしく)、G (Green:緑いっぱい)の三つを柱に、『とやまのみちBIG作戦』を展開しています。

主な内容としては、都市内メイン通りでの無電柱化や歩道のカラー舗装、観光地等への大型でわかりやすい道路案内標識の設置、幹線道路の街路樹植栽などで、道路の総合的な景観整備を目指して取り組んでいます。

また将来的には、県民の皆さんのご協力を得て、沿道民地の緑化や美化を進めていく計画です。

ジャパンエキスポ富山'92や2000年国体開催の際には、『とやまのみちはきれいになったなあ』と実感してもらえよう、取り組みたいと思いますので、積極的な参加とご協力をお願いします。

問合せ先 富山県道路課 ☎0764・44・3319



とやまのみちを美しく



とやまのみちをとやまらしく



とやまのみちを緑いっぱいに

冬の省資源・省エネルギー運動

—2月は省エネルギー月間です—

省エネルギー運動は、私たちの生活を守る大切な運動です。このたび、国において冬の省エネルギー対策が決められました。一人ひとりの小さな心がけが大きな省エネ効果を生みます。

冬の省エネルギー対策

- 1 室内の温度はひかえめ(20℃)にしましょう。
- 2 暖房器具、電灯、テレビ等をこまめに消すことにより、エネルギーの無駄を無くしましょう。
- 3 外出時は、できるだけ電車やバスを利用しましょう。

また、2月は省エネルギー月間です。月間の啓発事業として、省エネ運動県民大会を開催します。県内の高校家庭クラブ・婦人団体によるリフォームファッションショーや運動功績者の表彰式、そして、外国の方を迎えるのシンポジウム「くらし見聞録」等、多彩な行事を予定しております。是非ご参加ください。(入場無料)

省資源・省エネルギー運動 富山県民大会

日時 平成4年2月1日(土)

13時30分

場所 マリエとやま7Fオルビス (JR富山駅前)

第38回文化財防火デー

みんなで守ろう文化財

1月26日は文化財防火デーです



文化庁・消防庁

1月26日は、「文化財防火デー」です。この日は、昭和24年に法隆寺の金堂壁画が焼損した日です。

昭和30年以来、文化庁・消防庁の呼びかけで、毎年この日を中心として全国各地で文化財を火災・震災等の災害から守るための活動が展開されていきます。

木造の建造物や彫刻、紙・布に描かれた絵や古文書など文化財の多くは、非常に燃えやすい材料でできています。永い年月を経て現在に伝わるかけがえのない文化財が一瞬のうちに失われることのないように、一人ひとりの心がけて守り続けていきたいものです。

県内各地でも、自衛消防隊や住民の皆さんの参加により、防火・防災訓練等が行われます。この機会に平素からの防災体制を見直すとともに防災意識の高揚に努めましょう。

個人テロ志向を強める過激派



過激派は、我が国の平和な民主主義社会を暴力で破壊することを企て、爆弾等を使った悪質・凶悪な「テロ、ゲリラ」を引き起こしています。

昭和59年以降の個人テロ事件は89件で、死者は31人にものぼっています(平成3年10月現在)。

警察は、このような過激派の根絶を目指し、日夜、捜査を続けていますので、皆さんのご協力をお願いします。

BIG Tactics for TOYAMA Road



▲ジャパンエキスポ富山'92 会場完成予想図

平成4年度 富山県立大学入学者募集

Faculty of Engineering

工学部

- 募集人員
- 前期試験 機械システム工学科 約24名
- 電子情報工学科 約24名
- 後期試験 機械システム工学科 約40名
- 電子情報工学科 約40名
- 出願期間(前期・後期試験)
4年1月22日～31日
- 試験日
- 前期試験 4年2月25日
- 後期試験 4年3月12日
- 試験科目(前期・後期試験)
大学入試センター試験
国語・数学・理科・外国語
個別学力検査



○ 合格発表
前期試験 4年3月7日
後期試験 4年3月21日

数学・英語



College of Technology
短期大学部

- 募集人員
- 農業技術学科 生物生産専攻 約25名
- 農業土木専攻 約20名
- 環境工学科 約20名
- 出願期間 4年1月29日～2月5日
- 試験日 4年2月27日
- 試験科目 数学・理科・英語
- 合格発表 4年3月7日
- 問合せ先 入学試験実施本部
☎0766・56・7500



「ふるさとを環境づくり」

絵画入選者の発表

県内61校の小・中学校から249点の応募があり、審査の結果入選者は次のとおりとなりました。

小学生の部

(知事賞)



尾嶋崇儀くん 滑川市立田中小学校5年
滑川特産のホタルイカを題材に使い、現代の水質問題を描きました。

(うるおい会議会長賞)



題名「お花にかこまれた綺麗な町」
上田さおりさん
立山町立高野小学校5年

子供らしい感覚で、花と人間を楽しく描きました。

中学生の部

(知事賞)



橋本恵美子さん
高岡市立志貴野中学校1年

自然と文明の共生を通し、地球の宇宙時代への無限なる発進を、宇宙規模で描きました。

(うるおい会議会長賞)



題名「夢見るアゲハチョウ」

藤田美郁さん 滑川市立早月中学校1年
現代の環境問題を、アゲハチョウを通して中学生の目から鋭く描きました。

1月10日から警察署の 電話番号を統一

警察署へのご用は、

〇〇局〇一〇番へ

● 県警本部では、県民が覚えやすいよう県下全警察署の加入電話番号を、平成4年1月10日から、次表のとおりすべて「〇一〇番」に統一します。

各警察署の電話番号は、次のとおりとなります。

警察署	電話番号	警察署	電話番号
入善	72-0110	小杉	55-0110
黒部	54-0110	新湊	84-0110
魚津	24-0110	高岡	23-0110
滑川	75-0110	氷見	91-0110
上市	72-0110	井波	82-0110
富山北	38-0110	砺波	32-0110
富山	44-0110	福光	52-0110
大沢野	67-0110	小矢部	67-0110
八尾	55-0110		



● 遺失物、拾得物、各種問い合わせ等には、〇〇局〇一〇番をダイヤルして下さい。
● なお、事件・事故など緊急を要する連絡通報は、従来どおり「一一〇番」をダイヤルして下さい。

県政の動き

平成3年11月11日～12月10日

- 11月11日 一日部長辞令交付式
- 11月12日 「ゆ・と・りの日」推進キャンペーン(～13日)
- 11月13日 教美展(～17日)
- 11月14日 いきいき富山観光道場開催
第40回富山県社会福祉大会



- 11月15日 ケアポート庄川定礎式
夜間景観シンポジウム
- 11月19日 一日庁議
- 11月21日 勤労者美術展(～24日)



- 11月23日 県立総合衛生学院創立40周年記念式典
富山県婦人美術展(～27日)



- 11月26日 雪対策研究発表会
- 11月27日 ねたきり防止国際セミナー
'91エキスポとやまパフォーラム
- 12月2日 高度情報通信ネットワーク開局記念通話
高岡パートサテライト開所式
- 12月4日 ドイツプレーメン州の投資環境と拡大欧州市場セミナー
- 12月6日 12月定例県議会(～19日)



- 12月9日 「障害者の日」キャラバンキャンペーン出発式

県民カレッジ

1月開講の講座案内

コース	専門	放送
講座名	リーダー養成講座	テレビ放送講座
テーマ	生涯学習指導者実技講座②	道を辿る 一街道の歴史と文化一
講師	赤羽 一男 (広報コンサルタント)	宮口 侗迪 (早稲田大学教授) 塩 照夫 (富山経済専門学校講師)ほか
定員	40	200
日時	1月21日(火)から 2月18日(火)まで 5回 10:00～12:00	●スクーリング 1月18日(土)、3月21日(土) 14:00～16:00 ●放送 1月25日(土)から3月14日(土)まで8回 10:30～11:00
会場等	県民カレッジ学習室	●スクーリング 高志会館(1/18) 県民会館(3/21) ●放送 北日本放送テレビ(KNB)

●資料代 500円(テレビ放送講座は1,200円)
●問合せ、申込み先 県民カレッジ ☎0764(41)8635

平成4年2月街頭献血日程

日 曜	場 所	時 間
8 土	富山アピタ前	10:00～16:00
15 土	富山西武デパート前	10:00～16:00
16 日	富山西武デパート前	10:00～16:00
20 木	氷見市役所前	10:00～16:00
24 月	井波町保健センター	10:00～15:30
29 土	J R 高岡駅前	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後にも開所し(祝祭日除)、献血を受け付けています。

第7回冬季県民レクリエーション大会 「雪のびんぼう祭り」開催案内

県民が積極的に雪と親しみ、豊かで明るい生活ができるよう、雪の上で、様々なスポーツ・レクリエーション活動を展開します。こぞってご参加ください。



日時 平成4年2月2日(日) 午前9時～
場所 城端町(城南パーク・城端中学校グラウンド)

内容・スポーツ広場(雪上運動会、雪上ゲートボール、スノーバレー等)
・創造の広場(雪の造形)
・冒険の広場(雪上モトクロス等)
・遊びの広場・踊りの広場
問合せ先 城端町教育委員会
☎0766・62・1212
県生涯スポーツ協議会
☎0764・29・5455



「第4回新春フェスティバル」

開催案内

文化講座に集う皆さんの日頃の練習成果や創作舞台芸術を華やかに発表します。大ホールでの舞台公演は、三味線、尺八などの邦楽をはじめ、日本舞踊、エアロビクスなどバラエティな舞台構成となっています。ギャラリ―では、書道教室の作品展、展示ホールでは、いけばな教室の華展とフラワーデザイン展、また、和室にはお茶席を設け、茶道教室の生徒さんがお点前を披露するなど、当文化ホールの施設をフルに活用します。
〈日時〉舞台公演、1月15日(木) 13時開演
茶会、1月15日(木) 10時～16時
華展・フラワーデザイン展、1月15日(木)～16日(木) 9時～17時
書道展、1月15日(木)～19日(日) 9時～17時
〈場所・問合せ〉富山県高岡文化ホール ☎0766・25・4141

富山県高岡文化ホール

第45回富山県民体育大会 冬季大会の開催案内

冬季における県民スポーツの普及を図り、心身の健康・体力の増進と競技力を向上するため、次により開催します。

おそろいでご参加ください。
種目 スキー競技
日時 平成4年1月17日(金)～21日(火)
場所 芦峯寺スキー場
芦峯寺多目的広場周辺
内容 1部 競技スポーツの部
2部 県民スポーツの部
3部 健康・体力づくりの部
問合せ先 富山県体育協会
☎0764・31・9150

表2	エッセイ／滝沢 卓
P 1	年頭の辞
P 2	クローズアップ
P 6	① 91とやま夜間景観シンポジウム
P 10	② いきいき富山観光道場
P 12	③ 雪対策研究発表会
P 14	④ ねたきり防止国際セミナー
P 16	特集／一日部長・一日庁議
P 18	県庁探訪／児童家庭課
	P I N U P T O Y A M A
	撮影／池端 滋
	エキスポコーナー
	ふるさとみてある記／舟橋村
	県からのお知らせ



●表紙撮影／滝川邦彦(日本写真家協会会員)
 1月12日に京都で行われる第10回全国都道府県対抗女子駅伝に10回連続で出場する広浜良子さん。昨年の91東京国際女子マラソンでは県新記録の2時間41分52秒で堂々の10位となりました。上位入賞を狙う富山県チームのリーダーとしての活躍が期待されます。

県政については

- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)

物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
 ☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

消費生活については

- 消費生活センター 富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1
本丸会館内 ☎(0766)25-2777

交通事故については

- 富山県交通事故相談所東別館1階 ☎(0764)31-4111内4400
- 相談110番 家庭問題・悪質商法・覚えい刑など、どんな相談にも応じます。 ☎(0764)32-0110
- シルバー110番 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110

県からのホットニュース、見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV	RADIO	NEWS/APER
<p>テレビ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔・陽子のふるさとトーク」 ●北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにち富山県です」※翌日同時間再放送 1/5 競技力アップ スポーツアドバイザー 1/12 保育所は家庭のパートナー 1/19 映像の図書館「視聴覚ライブラリー」 1/26 富山冬の旅 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「12万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」 	<p>ラジオ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35 	<p>新聞広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

編集後記

◆舟橋村の無量寺を取材した際、本堂の縁側で気持ちよさそうにあくびをしている子猫を見つけ、思わず一句読んでしまいました。約束の時間に三十分も遅刻してしまいました。快く取材に応じてくださった竹沢住職に感謝。(T)
 ◆なでしこ保育園の全景写真をみるうちに撮っておこうと、外に出てカメラを構えると園児が前に集まってVサインを始める。仕方がないので一枚撮ると、また別の集団が来る。やっとの思いで撮った全景写真は、やはり暗かった。(A)

★湾岸戦争、ソ連の政変等激動の91年が過ぎ、92年が新しくスタートしました。富山県の今年のメイスイイベントは、何と言っても「エキスポとやま博」。開催期間中の八日間には全国から大勢の人が集まり、富山をPRするのにはまたとない絶好の機会です。県民一人ひとりが広報マンとなり大いに富山を売り込みましょう。(M)

とやまの心象

「建築百選」以降

残して生かす 心の財産

〔旧西勝医院〕



ただ、明治十八年(一八八五)の建築ともなれば、百年を越える歳月に耐えたものの、近い将来かなりの大修理が必要と



「県下では最も古い擬洋風建築で、全体の形はわずかな反りを付けた屋根と、正面破風に付けられた懸魚などの仏寺風のデザインを加味した建築である。正面中央に突出したポーチないし玄関部を配し、その二階にヴェランダを設けるのは、一七七〇年頃一八五〇年頃にかけて主としてアメリカ南部に流行した初期クラシック・リヴァイヴァルと言うコロンニアル建築様式の手法だが、この建築はそれを入母屋造りで造り、そこにポーチの菱組天井、二階ヴェランダとその手摺、正面と側面に付けられたアーチ開口部などの洋風意匠を集中している。いずれも金沢の宮大工と伝えられるこれを建てた棟梁がハイカラで洋風と考えて付けた八角柱や破風の應龍の漆喰細工、怪獣の鬼瓦などの意匠が、幻想的で「南蛮風」の雰囲気を出している」

「ミス・マッチの模様美」と題されたこの一文は、「富山の建築百選」を集大成した記念誌『百の共感』の中で西勝医院(当時)の建築を紹介したものである。建築そのものが持つ建築史的価値や文化的価値においては、今さら議論するまでもなく高く評されるべきものである。建築百選選定の際も、様々な選定基準がある中で、そのいずれにおいても認められた地域の名建築である。

言われている。百年の歴史を振り返れば、高宮医院として建築された後、西勝医院に引き継がれ、福光町のランドマークの一つとして町民に長く親しまれてきた。しかも、建築様式が前文にあるように、特異な存在として当時から注目を集めていたことであろう。ところが今年、所有者の転居という問題が起こり、保存も含めて世の関心を集めることとなった。その時、町当局の対応は素早く、敷地を含めた建築本体を町が購入した。老人憩いの家・高齢者生きがいセンター・福祉作業所など、二年計画の現工事が完了すれば、建築的な文化資産と社会施設という資産が融合した「町の財産」となることだろう。そのための改修工事にかかる情熱は、瓦一枚でも既存のものを見えるところに使うことで保存の精度を高めようとする知恵となっている。歴史・文化に理解のある対応は、福光町長の見識であり、培われた町民文化の高さを如実に表しているのではなからうか。後に、構想を知った西勝医師から多額の寄付があったことにも付け加えておきたい。

百選が残したものは、まさに建築文化との対話を通して足元を見つめる「心」の提唱でもあったのだ。

写真／風間耕司(日本写真家協会会員)
 文責／岡田順一(富山エディターサロン会員)



わたしたちの中には
 熱い気持ちがある。
 流れていきます。



はたちの献血



後 主
 援 催
 日 社 日 厚
 本 団 本 生
 法 人 赤 省、各
 放 通 十 都 道
 送 達 字 府 県
 部 署

牧野早穂

20歳の記念にYES、愛DO。
**はたちの献血
 キャンペーン**
 1月11日～2月10日

こんにちは、20歳。あなたも大人の仲間入り。
 新しいスタートの記念に、愛の献血をなさいませんか。
 冬期は特に血液が不足しています。
 熱いきもちと優しいおもいやりで愛のコミュニケーションを
 (からだにも、心にもやさしい成分献血をもっとひろめよう！)
 ♥献血は、成分献血・400ml献血、200ml献血の三つの献血方法から選ぶ
 ことができます。なかでも成分献血は血液中の血しょうや血小板だけを
 献血していただく新しい方法で、現在、医療で最も必要とされています。

◎お問い合わせは、赤十字血液センター (☎0764・41・5733)
 県庁薬務課 (☎0764・31・4111内線3583)、または市町村の担当課へ。



JET '92

FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92
第1回ジャパンエキスポ富山'92

会期/平成4年7月10日金—9月27日日80日間 会場/県民公園太閤山ランド